

水素・燃料電池関連部品セミナー

水素・燃料電池関連分野での事業展開に関心をお持ちの企業の方を対象に、**水素・燃料電池分野の最先端で活躍されている方や部品開発を担った事業者の方等を招き、当該分野での先進的な取組や要求される部品の技術等に関するセミナーを開催**します。

自社の新たな事業展開に関する情報収集の機会として、水素・燃料電池関連産業の現状等を理解可能なセミナーとなっておりますので、是非とも、ご参加ご検討下さい。

◆日時： 令和元年8月28日(水) 14:00～16:10

◆場所： 山梨県庁 防災新館 403・404会議室

◆参加費： 無料

◆定員： 30名程度（先着順）

◆内容（予定）

・講演1 <14:10～15:10>

「岐阜県八百津町における水素ビジネスへの取組」（仮）

株式会社清流パワーエナジー

取締役 向後 高明 氏



水素 ST のイメージパース

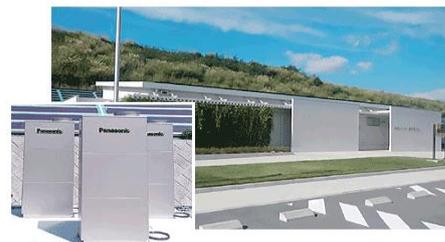
【出典】（株）清流パワーエナジー

・講演2 <15:10～16:10>

「パナソニックにおけるエネファームの普及・拡大と水素社会に向けた取組み」（仮）

パナソニック株式会社 スマートエネルギーシステム事業部

燃料電池技術部 技術企画課 課長 佐野 秀治 氏



純水素燃料電池

【出典】パナソニック（株）

[point]

- 地域における水素による事業展開から地域を活性化させることを目指して取組みを行っている清流パワーエナジーからは、水素を利用した地域貢献についてご講演いただきます。
- パナソニックからは、エネファームや純水素燃料電池を開発する企業がどのような技術を求めているかの方向性などをご講演いただきます。

◆お申込方法（申込期限：令和元年8月26日（月））：

別紙「**申込書**」に必要事項をご記入のうえ、FAX またはメールにてお申込ください。

※先着30名程度の定員に達した以降にお申込頂いた方には、その旨お知らせします（申込後、特段の連絡無い場合、参加可能ですので、当日、現地にお越し下さい）。

◆お問合せ先：

山梨県産業労働部新事業・経営革新支援課 新分野進出担当

〒400-8501 山梨県甲府市丸の内 1-6-1 TEL: 055-223-1565

【送付先】 FAX: 0 5 5 - 2 2 3 - 1 5 6 9 or E-mail : shinjigyo@pref.yamanashi.lg.jp

申込書

【令和元年8月26日(月) 令和元年度 第2回 水素・燃料電池関連部品セミナー】

山梨県産業労働部新事業・経営革新支援課 宛

貴社名：		部署名：	
住所：〒		TEL：	
		FAX：	
セミナー参加者名 (E-mail)			
1	フリガナ ご芳名	2	フリガナ ご芳名
	E-mail		E-mail

※ 2名以上で参加を希望される場合は、当用紙をコピーしてお使い下さい。

※ 参考の【事業の趣旨など】を理解のうえ、以下の点線の枠内についてご回答下さい。

<p>1. 御社の水素・燃料電池関連分野での活動状況は次のいずれに該当しますか。</p> <p><input type="checkbox"/> 現在該当分野で活動している。 <input type="checkbox"/> 今後参入を目指す。</p>
<p>2. 水素・燃料電池関連分野において、御社の主要製品（検討中を含む）が含まれる業種は次の9業種のうちいずれに該当しますか。（略称の内容は参考【2の凡例】参照）</p> <p><input type="checkbox"/> プラ <input type="checkbox"/> 金属 <input type="checkbox"/> 生産用 <input type="checkbox"/> 業務用 <input type="checkbox"/> 電子 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 情報 <input type="checkbox"/> 輸送用</p> <p><input type="checkbox"/> 情報サービス</p> <p>主な製品名 _____ (←記入しなくてもかまいません)</p>

<参考>

【①「やまなし新産業構造対応雇用創造プロジェクト」の趣旨など】

県内における正社員雇用の創造を図るため、医療機器や燃料電池等今後成長が見込まれるものづくり分野における県内企業の事業拡大や新規参入を支援するとともに、地域の求職者の就職を支援するプロジェクトを実施します。

そのため、事業に参加をされる事業者においては、非正規社員の正社員化も含め、正社員雇用の創造に努めていただくとともに、事業終了後に雇用の状況や計画などにかかるアンケート等に御協力いただきますようお願いいたします。

【②プロジェクトの対象分野】

1 医療機器関連産業 2 燃料電池関連産業 3 スマートデバイス関連産業 4 生産機器・業務機器システム産業

【③2の凡例】 ()内は、日本標準産業分類(総務省)の中分類番号

プラ：プラスチック製品製造業(18)、金属：金属製品製造業(24)、生産用：生産用機械器具製造業(26)、業務用：業務用機械器具製造業(27)、電子：電子部品・デバイス・電子回路製造業(28)、電気：電気機械器具製造業(29)、情報：情報通信機械器具製造業(30)、輸送用：輸送用機械器具製造業(31)、情報サービス：情報サービス業(39)